



志賀高原ユネスコエコパーク

信州 たかやま議会

134号

2021年1月25日

発行／高山村議会

発行責任者／松本 茂

編集／議会報編集特別委員会



134号 目次

12月定例会	
補正予算、条例	2-3
新人議員紹介	4
一般質問	5-8
議会活性化特別委員会	9
移住定住をされた皆さんに聞きました	
⑤牧野稔さん	10
⑥鈴木彩華さん	11
わたしの声	
小林孝弘さん	12



安全、安心願う、村の年末年始風景

消防団

12月25、26、29日、夜9時から雪の中での年末警戒。団員の皆さんに、感謝・感謝。

村神社の初詣

令和3年、村民の願いは、家族の健康、コロナの終息。

一般会計補正予算 減額 8934万円

総額 51億5932万円

12月の定例会

令和2年12月定例会は3日から11日までの9日間の日程で開催されました。

村から提出された案件は村税条例の一部を改正する条例及び他1件と、一般会計及び特別会計補正予算を含む9件を原案どおり可決。議員発議の意見書1件を可決しました。

一般会計及び特別会計補正予算6件

全員賛成

令和2年度高山村一般会計補正予算他6件

一般会計では、歳入歳出それぞれ8,934万円を減額し、当初予算からの累計額を51億5,932万円としたものです。

主なもの

● 高山小学校・中学校の生徒全員にGIGAスクール構想タブレット購入。

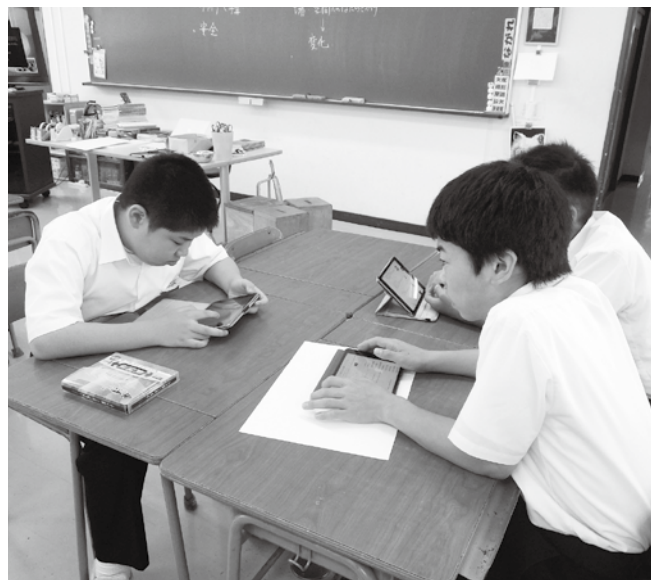
(37,798,000円)

● 山田牧場

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため実施できなかった事業予算を減額する他、山田牧場にぎわいの場拠点施設の整備について、自然保護団体から建設予定地内の希少高山植物を保護するよう求められ、その調整に不測の日数を要することとなり、本年度の工事着手を断念せざるを得なくなったため、施設整備工事請負費など7548万円を減額したものです。



山田牧場にぎわいの場（足湯施設）地質調査（2020年4月）



タブレットによる授業風景。



国土強靱化事業の作業写真（豊野南志賀公園線山田入）

条例の一部改正

● 村税条例の一部を改正する条例

全員賛成

● 村税以外の諸収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例

全員賛成

村税条例の一部を改正する条例他1件

国民健康保険税の減額の基準について、軽減判定所得の算定となる、基礎控除額相当分の基準額を引き上げるための一部改正等です。

議員発議による意見書

● 災害からの復旧・復興及び

国土強靱化等に向けた社会資本整備の

促進を求める意見書

全員賛成

令和2年11月臨時会

令和2年11月臨時会は、新たに議員となられた2名を加え、定数どおりの議員12名で、11月30日に開催されました。

人事院勧告に基づく、一般職の国家公務員の給与改定に準じて、本村においても同様に、議会議員、村職員等の期末手当の支給月数を、年間0・05月分引き下げるための「議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」他5件及びそれに伴う補正予算で、全員賛成で可決いたしました。

涌井仙一郎議員

逝去



去る1月5日、涌井仙一郎議員（享年76歳）が逝去されました。

故涌井議員は、平成21年8月に

行われた村議会議員選挙において初当選以来、3期連続で当選され、副議長、議会運営委員長、総務文教常任委員長、議会報編集特別委員長、雁田山砕石問題調査特別委員長のほか、監査委員などを歴任され、常に村議会のリーダーとして活躍されました。

この他、村文化財保護審議会委員として、20年の長きに亘り、「湯倉洞窟遺跡」などの指定文化財の指定に関わるほか、人権擁護委員を6年間努められました。

生前のご功績に感謝し、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

12月定例会 一般質問

12月定例会の一般質問は12月8日に開かれ、8名の議員が14項目について質問を行いました。

頁	質問議員	質問事項	答 弁
5頁	西條 正純	村長表彰がマスク無しだったが	配慮に欠けており申し訳なく思う
		台風19号時の節水効果は	8.5%減の大きな節水でした
5頁	西原 澄夫	機能別団員、分団制度の導入について	分団長会での検討結果を尊重させて頂く
		村政2期目の人口対策について	新たに人口対策を含む5つの柱を設けます
6頁	酒井 康臣	ふるさと納税に取り組む具体策は	返礼品の充実と複数サイトを活用し推進する
		「首長誓約」を実現させる取り組みは	木質バイオマスエネルギーの活用を検討する
6頁	湯本 辰雄	内山村政の現場主義について	村民の強い要望を最優先すること
		笠岳付近にトイレの設置を	課題が多く、観光活性化の中で研究したい
7頁	柴田 弘男	高山村の指定文化財認定について	保存及び活用の必要な処置を講じる
7頁	高井 央葉	移住定住対策について	対策を充実し、安全に安心して暮らせる村を目指していく
		子育て支援について	幅広くご意見を伺い、ニーズに合わせた必要な支援を行っていく
8頁	水谷 清	職員の管理職起用について	職員は年齢や性別にとらわれなく任用に努めます
		これからの英語教育について	実用英語の力を伸ばしていく
8頁	黒岩 清道	新型コロナウイルスの感染予防対策について	公共施設へ体温測定機等の設置を検討

新人議員紹介

11月1日 村議会議員補欠選挙が行われ2名の議員が当選され、3年間の欠員の状況が解消されました。

議席番号1番 黒岩 清道 議員

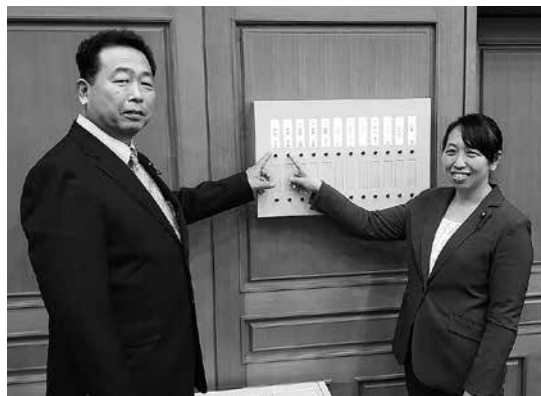
総務文教常任委員会（60歳）牧区

【経歴】元高山小PTA会長、現高山小わくわく村事務局長、村社会教育委員長

議席番号2番 高井 央葉 議員

民生産建常任委員会（41歳）紫区

【経歴】福井大学環境設計工学科卒業、小諸市出身、平成22年高山村に移住



左から1番黒岩清道議員、2番高井央葉議員。
今後の更なる活躍を、期待します!!

西條 正純 議員



村長表彰がマ
スク無しだっ
たが

答 配慮に欠け
ており申し訳な
く思う

問 今回の村長表彰授与はマ
スクをせずに1m以内で読み
上げ、アクリル板などのバリ
アもありません。コロナ禍で
は、話す時こそマスクがマ
ナーと思うが、村の考えは。
村長 感染防止を考えると、マス
クを着用すべきでしたが、受
賞者のお顔や表情を伝えるた
めに壇上の関係者はマスクを
外しました。新型コロナが収
束しない中なので、指摘のと
おり配慮に欠けており、関係
の皆様に変え申し訳なく思っ
ています。

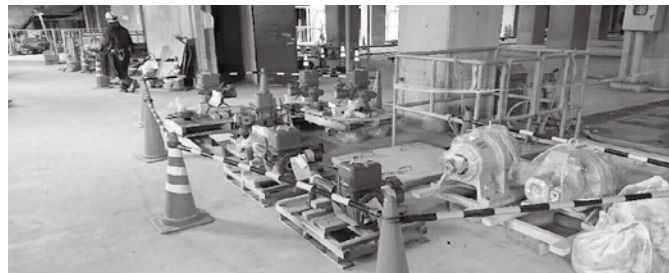
台風19号時の

節水効果は

答 8・5%減の

大きな節水でした

問 令和元年の台風19号被災
時に村民へ呼び掛けた「節水」
の効果や実績は。



復旧工事の進むクリーンピア千曲。節水の実績を数字で見ると、
昨年の節水に協力した甲斐があったと実感できます。(写真提供：
クリーンピア千曲)

建設水道課長

対象地域で前年比6・8%
減、5か年平均比8・5%減
と、節水の難しい水道水で大
きな協力をいただき感謝しま
す。

問 処理場の放流水は※BOD
Dが高いままだが。

建設水道課長

処理場の5系列全てが復旧
する令和3年3月まで、節水
への協力依頼を頂いていま
す。

※BOD(生物化学的酸素要求量)
水質汚染を測る指標。

西原 澄夫 議員



機能別団員、
分団制度の導
入について

答 分団長会で
の検討結果を尊
重させて頂く

問 地域防災力の底上げ、団
員のなり手不足の解消の為
に、消防団への入団の間口を
広げ、多くの皆さんが参加し

消防団 大切な人、大切なまちを守る。
むらを守る。安心をつくる。
消防団員を募集しています。
高山村の消防団員は、本業を持ちながら地域の安全と安心を守るために活躍しています。
消防団では、みなさんの力を必要としています。消防団に入団し、地域のために活動しませんか。

やすい、特定の活動のみに参
加する団員、分団である、「機
能別団員、分団制度」の導入
が出来ないか。

総務課長

団員数を確保することは大
変重要なことと考えています
ので、団幹部の皆さんと知恵
を出し合って「機能別団員、
分団制度」の導入を含めて、
組織作りを検討してまいりま
す。

村政2期目の
人口対策について

答 新たに人口対策を含む
5つの柱を設けます

問 2040年までの村人口
の推移は。

村長

2040年には、1180
人減の5764人と推計され
ています。

問 昨年9月の定例会でも質
問したが、人口減少に歯止め
をかける上でも人口対策に特
化した課、係の新設は出来な
いか。

村長

現時点では、新たな課等の
設置は検討していません。

酒井 康臣 議員



**ふるさと納税
に取り組む具
体策は**

答 返礼品の充
実と複数サイ
トを活用し推進す
る

問 村長の約束では積極的にふるさと納税の推進に取り組み、自主財源を確保し、返礼品を通して村の知名度を高めると表明しているが具体的にどのような取り組みなのか。

村長

ふるさと納税をさらに充実させていくためには、

返礼品の品数を増やし多様な選択肢を示すことが重要で、特産品開発事業補助金などを積極的に活用いただくよう支援をしている。

現在の受付窓口は「さとふる」のみだが「三越伊勢丹」ポータルサイトと契約し、準備を進めており、今後も複数のサイトを活用し、納税機会を創出していく。



フィンランド ボルター社のバイオマス発電機。40kw/n。

**「首長誓約」を
実現させる取り組みは**

答 木質バイオマスエ
ネルギーの活用を検討する

問 エネルギーの地産地消、温室効果ガスの大幅削減、気候変動などへの適応の3つの取り組みは具体的にどのようなものか。

村長

「エネルギーの地産地消」に関する勉強会を3回開催し、木質バイオマス活用の必要性と可能性を認識し、費用対効果も含め検討していく。

湯本 辰雄 議員



**内山村政の現
場主義につい
て**

答 村民の強い
要望を最優先す
ること

問 ①村民に直接、山田牧場にぎわいの場構想の説明をして欲しい。

②笠岳登山口のトイレの投書があった。ご本人の声を聞いていますか。

村長

①にぎわいの場構想の説明会はコロナ感染症対策を優先したい。

②笠岳付近のトイレは商店経営者に感謝しています。現場主義とは、村民の強い要望を最優先すること。

笠岳付近に

トイレの設置を

答 課題が多く、観光活
性化の中で研究したい

問 ①学校の登山学習にも活用されてきた笠岳周辺にはトイレがない。現状は商店のサービスにより利用させてい



笠岳登山口の売店とご主人です。トイレは早期に村で設置を。

ただいている。村営トイレの設置を。

②自然にやさしく、どこでも設置でき、汲み取りもない、自然に優しいバイオトイレを提案します。

産業振興課長

①笠岳周辺は、山岳地帯で水や電気がないので、合併浄化槽のトイレ設置は大変難しい。

②バイオトイレも電気や水が必要なので、設置には課題が多く、環境省とも観光活性化のため研究したい。

柴田 弘男 議員



高山村の指定文化財認定について

答 保存及び活用の必要な処置を講じる

問 高山村には、沢山の指定文化財があります。

2件・村指定文化財37件があるが、山城跡は1件も指定がない。木々が大きくなっており登山道や城跡を整備しないと時代が過ぎると忘れ去られる。今回は、月生城と榊形城を文化財に指定してはどうか。

教育次長

貴重な財産を後世に受け継いで行くために、「高山村文化財保護条例」を制定し、その保存及び活用のために必要な処置を講じ、文化財保護審議会へ諮問し、調査審議し教育委員会に建議される。

月生城と榊形城の城跡と赤和観音と中塩のしだれ桜は、文化財の候補に挙がっておりますので調査・研究を進めてまいります。



高井 央葉 議員



移住定住対策について

答 対策を充実し、安全に安心して暮らせる村を目指していく

問 移住定住を考えている方と村民、地区の方々と交流等の支援体制は？

村長

定住支援員制度について幅広く周知し、移住者の皆さんの不安などの払拭に努めてまいります。また、区長会などを通じて、移住された方が地域にとけ込み、安心して暮らせるためのサポートをお願いして参りたいと考えております。

子育て支援について

答 幅広くご意見を伺い、ニーズに合わせた必要な支援を行っていく

問 経済的支援以外の子育て支援についてどう考えているか。また、それに対する村民の要望を聞くことはあるか。

教育次長

ニーズの把握に努め、必要な支援を行って参りたいと考えています。また、幅広く村民の皆さんのご意見等伺っておりますので、いつでもお気軽にご意見等をお寄せいただきたいと思います。

村長 人口減少が村民生活に与える影響や、人口増加のメリットなどについて、本年度を初年度とする「第六次高山村総合計画」や「第二期高山村総合戦略」の策定過程においてお知らせしてきたが、今後と



水谷 清 議員

職員の管理職
起用について

答 職員は年齢や性別にとらわれなく任用に努めます

問 職員の管理職起用について。

村長

村では「職員の定年等に関する条例」を制定し「職員の定年は60才と規定しており、退職した職員を1年を超えない範囲で「勤務延長」できると規定しております。課長職の任用にあたっては様々な観点から人事評価制度に基づき任用しております。又管理職の職員の任用については年齢や性別にとらわれることなく任用に努めてまいります。男女共同参画の観点からも女性の管理職の任用も十分考えていきます。

これからの

英語教育について

答 実用英語の力を

伸ばしていく

問 これからの英語教育について。

教育長

今回改定された小・中学校の新学習指導要領は小学校では本年4月から中学校では来年4月から実施されます。

この指導要領の主眼は「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の3点が指導の視点とされており、当小・中学校の指導要領以外にも小学校1・2年及び保育園において外国語指導助手（ALT）との2名体制による活きた英語に触れる英語活動を実施しております。

現在、高山小・中学校での「英語技能検定」の実績は5級・4級36名、3級13名、準2級4名が取得しており、高山中学校を会場に年3回検定を実施しており、これからも実用英語の力を伸ばして行く所存であります。



黒岩 清道 議員

新型コロナウイルスの
感染予防対策について

答 公共施設へ体温測定機等の設置を検討

問 役場や村施設の入口に体温計又は自動での測定機等の設置はできないか。

総務課長

現在、たかやま診療所や、YOU遊ランドなどの村営温泉施設につきましては、機器を整備しておりますが、役場庁舎や公民館・チャオルにつきましては、今のところ、来庁者の皆さんに対する体温測定は行っておりません。しかしながら、第3波といわれるように、近隣の自治体でも感染者が発生するなど、いつ、誰が感染してもおかしくない状況となっておりますことから、これまで以上に危機意識をもって、感染症対策にあたるとともに、公共施設への体温測定機の設置につきまして

も、検討して参りたいと考えております。

問 施設内のスリッパを廃止にしましたが、これから冬に向けて靴の裏の溝が深い履物になります。土足対応について、衛生面から見て、問題はないのか。

総務課長

11月2日から感染症対策の一環として、現在試行ではありますが、役場庁舎及び公民館のスリッパを撤去し、下足で施設内にお入り頂くこととしています。床の汚れなどの衛生面につきましては、大きなマットを敷き、対策を講じております。



たかやま診療所。



役場庁舎入口。



議会活性化特別委員会経過報告

(議員のなり手不足を解消するための委員会)

12月9日、今後の方針について、議論をいたしました。

なぜ議会は、特別委員会を立ち上げたのか？

実際に選挙戦になれば、現職議員は、立候補に当たって、当・落選のことを当然考えます。定数内の立候補数で、無風の選挙戦になればと考えても、不思議な事ではありませんし、新たに立候補されようと考えている皆さんも、同様だと考えます。

議員のなり手不足解消が、これま
でなかなか進んでこない理由の一つ
かもしれません。

だからといって、それを乗り越え
なければ、村民にとっての活発な議
会、関心の持てる議会には、ならな
いという思いが、特別委員会を立ち
上げた大きな理由の一つです。

今回の村議会議員選挙が、令和3年
9月に迫っている中で、村民に信頼さ

れ期待をされる議会を作り、いろい
ろな立場の皆さんが、立候補し易い環境
を作る為に、次の4点に方針を絞り、
今後、議論を進めてまいります。

① 議会モニター連絡会議から、議会モニター連絡会議に格上げ

議会モニター制度が、一定の
成果が上がったことから、今後は、
議会全般をモニターする制度に、
少しハードルを上げさせていた
きます。

② 地域、年代、性別のバランスが取れた議会を

目指します

- ・ 区長との懇談会を開催し、地域の考え方と実情をお聞きします。
- ・ ブロック行政懇談会で、村民の皆さんと、意見交換をします。
- ・ 女性が立候補し易い環境を整備し、新たな女性候補者の発掘に努めます。

③ 通年議会の検討

※専決処分が減少し、議会の監視機能が高まるなどのメリットがあります。行政負担が増えるなどの、デメリットもあります。時間をかけ、十分に議論をしていきます。

④ 議員定数、報酬の適正化

県内町村議会の定数・報酬の、調査研究をします。政務活動費の要否の検討をします。

以上が、今後、議会活性化特別委員会が議論していくテーマです。

多くの村民の皆さんにご意見をお寄せいただき、令和3年度6月定例会までには、結論を出したいと考えています。

ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(酒井康臣議会活性化特別委員長)

※「通年議会」会期を一年とし、その間は、議会の判断で、必要に応じて会議を開けるようにする制度

※「専決処分」本来は、議会が議決しなければならぬ案件を、議会の招集をまてない緊急な場合に、首長が議会の議決に代わり、意思決定すること

された皆さんに聞きました

5. 牧野 稔さん（中原）



農業、化学肥料、除草剤を使わずに、ブルーベリーと米と豆を丁寧に育てている。ブルーベリーは初夏頃には摘みとり体験を行ったり、ジェラートやジャム、ジュースなどの加工品もある。

1、移住されたきっかけ

神奈川県横浜市の出身です。初めは、小布施に移住しましたが、小布施から高山村に遊びに行ったり、米作りの教室に通うたび、高山村の自然の豊かさや、素晴らしいさにふれ、就農したいと思いました。環境保全型農業推進の村というのも魅力的でした。

2、移住するにあたって苦労したこと、良かったことは？

小布施に四年間住んでいたのですが、特にはありませんでしたが、就農、独立するにあたり家族を説得するのは大変でした。私はタイミングよく、村営の就農住宅に入らせて頂けたので恵まれた環境で農業を始められたと思います。また神楽保存会に入ったり、組長や分館の仕事をしたりと区の皆さんとも親交を深めることができてよかったです。

3、高山村に住んでみての感想

生き物が好きなので、普段からいろいろな生き物

が、畑や田んぼだけでなくあちらこちらで見られるのは幸せです。農作業に追われながらも、四季折々の景色の素晴らしさを肌で感じることや、季節に合わせて、自然と呼応するように1年が淡々と過ぎていくことは、私にとってとても魅力的です。

4、これから移住される方へのアドバイス

好きこそものの上手なれ。習うより慣れろ。でしょうが。

5、村への要望

移住者の支援として、高山村で何か新しいことを始めるときに、いろいろな意味でやりやすい環境づくりをして頂けるとありがたいです。

あとは、農産物だけでなく、村の特産物や商品、雑貨などいろいろな業種の方達が誰でも関われる常設のマルシェまたは道の駅のような施設を作って頂ければ、もっと活気が出るのかなと思います。

たかやまに移住定住を



6. 鈴木 彩華さん (堀之内)

幼少からダンスに親しみ、年齢や性別、国籍などに捕らわれない手法で、参加者一人ひとりの表現を引き出し、交流を生み出す場としてのダンスワークショップの主催や、県内アーティストとの共創活動など積極的に行っている。

1、移住されたきっかけ

東京を離れたいと思い始めた頃に須坂の友人との縁ができたことがきっかけです。

2、移住するにあたって苦労したと、良かったことは？

山や広い空、良い人たちに囲まれて、以前より心穏やかな日々がおくれています。

近くに温泉があるのも嬉しいです。

3、高山村に住んでみての感想

大きな問題なく生活させていただけいて、有り難く思っています。

4、これから移住される方へのアドバイス

少しでも移住への思いがあれば、実際に行ってみたり、人と会ってみたりすると良いと思います。案ずるよりも産むがやすしいますし、行動を起こしてみたら、色々なことが動き出すはずですよ。

5、村への要望

村外へのアクセス、都市部から村へのアクセスがしやすい仕組みができること、より人の流れができて活発になるかもしれません。

☆2匹の鯉☆



水中区

小林 孝弘

高山村に移住してきて、まもなく4年になります。田んぼの勉強会で村を訪れたのがきっかけで移住を決意し農業に従事しました。現在1町5反歩の田んぼを管理しております。今年結婚しまして夫婦二人で作業しています。

移住しようと思いつき、家探しを始めたもののネット情報では物件が乏しく、直ぐに住めそうな家がほとんどありませんでした。しかし奇跡的に現在の家を見つけた事ができたのは本当にラッキーでした。当時そんな事を深く考える事もありませんでしたが、高山村に移住したいと言う人に会って話をすると皆さん物件探しに苦労されているそうです。よくそんな物件あったねと言われます。私ツイてました(笑)。越して来たのが2月末の寒い時期で、大雪のある大きな家です。庭には池があります。後から知ったのですが、この辺は水が湧いている場所が多く池のある家が多いんだよと教わりました。水が湧いているので

冬場も池の水が凍らないから鯉が生きていられるとか。家を買った際に、池には鯉が二匹いるからと説明を受けていました。でも大雪で池はすっぽりと覆われていて鯉の存在も分からないので、本当にいるの?と思っていました。日差しも暖かくなってきた春を感じ始めた3月末頃、雪が溶けて水面が見えるようになって、ガリガリにやせ細った鯉が二匹、よろよろ泳いでいるではありませんか!鯉の生命力にとっても感動した瞬間でした。今では毎朝餌をあげるのが日課です。

区の総会が3月にあり、緊張の総会デビューを果たし、北信流の酒の飲み方を教わり、徐々に知り合いも増えてきました。名前を覚える時は下の名前も覚えないと話についていけない事に苦労しました。今では、名前を呼ぶときは下の名前に「さん」をつけて呼ばせて頂いています。田畑にいとブドウやリンゴ、野菜を貰える様になりました。皆さん本当に優しい人達ばかりです。高山村に来て良かったと思える瞬間です。



編集後記

明けましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナウイルス対策に明け暮れた年になりました。
 今年は東京オリンピック開催が予定されていますが、政府には「二兎を追う者は一兎をも得ず」にならないよう、先手先手のコロナ対策を期待したいと思います。

議会も新人議員が入り新しい視線での議論が活発になりました。
 村民の皆様の要望を村に反映できるよう議会活動に励んで参りますので、村民の皆さまのご支援よろしくお願いたします。
 (酒井康臣)

発行責任者

議長 松本 茂

議会報編集特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 水谷 清 |
| 副委員長 | 西原 澄夫 |
| 委員 | 酒井 康臣 |
| 委員 | 宮川 登志一 |
| 委員 | 柴田 弘男 |
| 委員 | 黒岩 清道 |
| 委員 | 高井 央葉 |

発行 / 〒382-8510 長野県高山村議会
 編集 / 議会報編集特別委員会
 TEL (026) 245-1100
 印刷 / 株式会社オフセット